



霧島市立溝辺中学校

# 創立70年のあゆみ



昭和42年度アルバム

## 溝辺中学校校歌

作詞 兼手 重則  
作曲 武田 恵喜秀

一 高屋の山の 陵を

朝な夕なに 仰ぎつつ

希望はおどる 学び舎に

真理の光 満ちあふる

溝辺中学 誇りあれ

二 神割池の 水清く

若き生命を みがきつつ

団結かたき 旗のもと

友愛の花 咲きかおる

溝辺中学 誉れあれ

三 大空かける 若鷹の

高き理想を めざしつつ

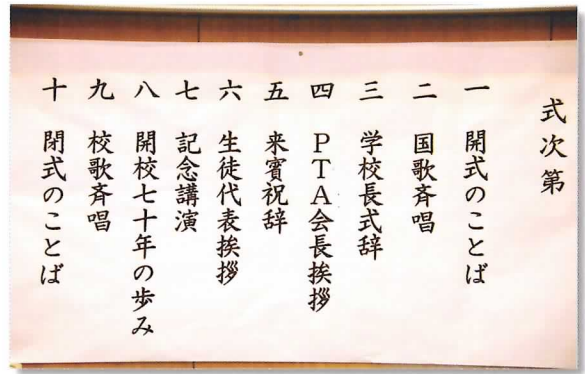
正義の翼 はばたいて

若人の夢 明日を呼ぶ

溝辺中学 栄えあれ



# 創立70周年記念式典



生徒会によるオープニング演奏



学校長式辞



PTA会長あいさつ



来賓祝辞



生徒代表あいさつ



生徒会歌合唱



記念講演



創立70年のあゆみ上映



溝辺小学校金管バンド演奏



竹子小学校棒踊り演舞

## 卒業数一覽

(昭和)

(平成)

回	年度	卒業生	累 計	回	年度	卒業生	生 累	回	年度	卒業生	累 計
1	22	80	80	25	46	135	3258	49	7	69	5123
2	23	113	193	26	47	128	3386	50	8	93	5216
3	24	208	401	27	48	113	3499	51	9	77	5293
4	25	193	594	28	49	95	3594	52	10	70	5363
5	26	196	790	29	50	84	3678	53	11	71	5434
6	27	142	932	30	51	90	3768	54	12	56	5490
7	28	181	1113	31	52	87	3855	55	13	57	5547
8	29	103	1216	32	53	88	3943	56	14	65	5612
9	30	132	1348	33	54	79	4022	57	15	57	5669
10	31	135	1483	34	55	80	4102	58	16	48	5717
11	32	99	1582	35	56	76	4178	59	17	51	5768
12	33	106	1688	36	57	67	4245	60	18	56	5824
13	34	87	1775	37	58	55	4300	61	19	49	5873
14	35	75	1850	38	59	62	4362	62	20	48	5921
15	36	109	1959	39	60	68	4430	63	21	47	5968
16	37	139	2098	40	61	62	4492	64	22	45	6013
17	38	143	2241	41	62	55	4547	65	23	36	6049
18	39	130	2371	42	63	57	4604	66	24	46	6095
19	40	116	2487	43	64・元	67	4671	67	25	46	6141
20	41	120	2607	44	2	88	4759	68	26	33	6174
21	42	112	2719	45	3	71	4830	69	27	38	6212
22	43	154	2873	46	4	79	4909	70	28	36	6248
23	44	134	3007	47	5	70	4979	71	29	29	6277
24	45	116	3123	48	6	75	5054				

# 式 辞

溝辺中学校 校長 米森 孝代

コスモスの花が風に揺れ、山々の紅葉も目を楽しませてくれるこの秋の佳き日に、溝辺中学校七十周年記念式典を、御来賓・地域・保護者の皆様に御列席いただき、盛大に挙行できますことを、心より感謝申し上げます。

この記念式典は五つのねらいをもって準備を進めて参りました。

まず一つは、学校の歴史と諸先輩方が過ごされた貴重な七十年の歩みを振り返り、記録として残すことであります。のちほど式典の中で懐かしい写真をご覧いただきます。この会場にお集まりの十代から八十代の世代の方々がそれぞれの思い出や、教育環境の社会変化などを感じていただけることと思います。

二つ目には「七十周年」という言葉をキーワードとして、学校と多くの方との連携「開かれた学校づくり」に努めるという事でございます。

私はこの取組を進めていくにつれて、本校を大事にしてくださる方がこんなにたくさんいらっしゃるのだということを実感し、「地域と共にある学校づくり」への責任を改めて感じることでございました。

さて、ねらいの三つ目は、本日御講演を賜ります二見剛史先生そして御祝辞を賜ります壹岐修先生、お二方とも本校の卒業生として、いわば「先輩から後輩へのエール・励ましのお言葉」をいただける機会とすることでございます。本当に有り難うございます。

また、先だって二見先生からは本をプレゼントしていただきました。創立七十周年を記念して出版された、こちらの「心やさしき人々」です。すてきなエッセーや絵手紙、そして先生の幅広いご研究、ご家族への愛情そして深い郷土愛、母校への思いなどが綴られております。

この中にあります「ふるさとの歌」のコーナーで中学校の校歌や生徒会の歌についても収めていただきました。いつの間にか歌われなくなった生徒会の歌を、今年度の生徒会が新たに、二番・三番の歌詞を付け加えて、復活させました。のちほど合唱しますが、竹子の最勝寺良寛先生が浄書してくださいました。

「学舎に響く歌声・歌い継ぐ心」これをねらいに四つ目にしたいと思います。

最後に、五つ目のねらいとして、溝辺小学校・竹子小学校との小中連携であります。

それぞれの小学校の魅力や特色のある教育活動を受け継ぎ、中学校ではさらに子どもの個性を伸ばし、進路を定めていく教育・九年間のつながりを大切にした教育を進めてまいります。

本日の式典の最後には、かわいらしい小学生の演奏・演舞をお願いしております。

出演に際して心配りをしていただきました両小学校の校長先生、有り難うございました。

結びに、本日御臨席賜りました皆様に心より感謝申し上げます。次の八十周年、九十周年、百周年までも、この溝辺中学校への変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。式辞と致します。



式辞に立つ米森学校長

# PTA会長あいさつ

PTA会長 中山 実  
(昭和53年度・第32回卒業生)

PTAを代表いたしまして、一言お祝いのことばを申し上げます。

この度は、溝辺中学校創立70周年、誠におめでとうございます。

私がこの溝辺中学校を卒業した昭和54年の頃、柔道部、剣道部、陸上部が活躍していたことを思い出します。

生徒数は240名を超えてとても賑やかでした。今、100名を切っている現状を見ると少子化の波が溝辺にもおしよせて来ている事を実感します。

そして、現在、私はPTA会長のお役を頂くことになり、たびたび校舎に足を運んでいます。子ども達が、様々な経験を通じて、学び、成長していく姿を見るのは本当に喜ばしいことです。

どうか、この先も、溝辺中学校が子ども達の健やかな成長の場として、ますます発展し、八十年、九十年と歴史を積み重ねていかれることを願っております。

もちろん私たちPTAも、体育祭や奉仕作業などの学校行事に積極的に取り組む事で、学校の力になればと思っております。

本日ご臨席いただきました来賓の皆様、溝辺中学校に対して、これからも変わらぬご理解、ご協力をいただきますよう心よりお願い申し上げます。

最後になりますが、溝辺中学校のますますのご発展とご列席の皆様のさらなるご活躍を心より祈念いたしまして、創立70周年をお祝いすることばと致します。

本日は誠におめでとうございます。



あいさつをされる中山会長



27歳当時の中山会長



中山さんの学んだ教室



卒業写真（前列右から4番目）

# 生徒代表あいさつ

中学校3年生 中馬 海晴  
(平成29年度・第70回卒業生)

私は平成29年度の生徒会長の中馬海晴です。

今日はこのように多くの来賓の方々、たくさんの皆様にお越しいただいたことを、本当にうれしく思います。ありがとうございます。

私たちは、溝辺中学校創立70周年記念式典、そして、文化祭に向けていろいろな取組をして参りました。この成果を、みなさまに見ていただき、感動を届けることができればと思います。

70周年は次の80周年、90周年、100周年へのスタートでもあります。溝辺中学校の歴史と伝統を受け継ぎ、私たちもまた、ふるさと溝辺や母校の応援ができる大人になる、そのよう決意を新たにす一日したいと思います。

さて、今から58年前、昭和28年になりますが、本校の生徒会では生徒会の歌をつくり、体育大会の開会式でも歌っていたそうです。

今回、私たちは2番・3番の歌詞を新たに創作しました。

当時のメロディーに乗せて歌います。どうぞお聞きください。

溝辺中学校 生徒会歌

作詞 大山初子(一番)  
平成二十九年 度 生徒会(二・三番)  
作曲 岩元立義

一 山は招く 高屋の陵  
仲良く笑顔で 僕たちは  
手に手をとって 睦まじく  
築き上げよう 生徒会  
我ら溝辺の 中学生

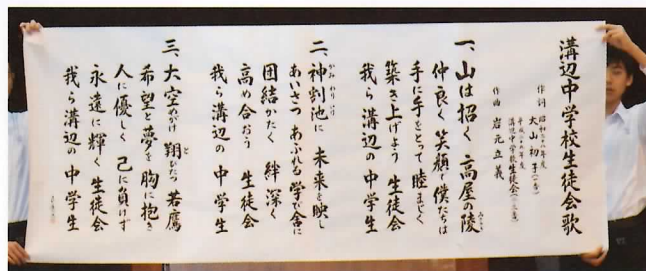
二 神割池に 未来を映し  
あいさつあふれる 学び舎に  
団結かたく 絆深く  
高め合おう 生徒会  
我ら溝辺の 中学生

三 大空めがけ 翔びたつ若鷹  
希望と夢を 胸に抱き  
人に優しく 己に負けず  
永遠に輝く 生徒会  
我ら溝辺の 中学生



「中馬」生徒会長

生徒会歌  
合唱披露



最勝寺良寛先生による生徒会歌浄書

# 祝 辞

旧溝辺町教育長 壹岐 修  
(昭和26年度・第5回卒業生)

本日は、溝辺中学校70周年おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

民主主義教育の基本を示した教育基本法が制定され、我が国の学校制度が、小学校6年・中学校3年・高等学校3年、即ち6・3・3制となり、新制中学校が発足したのが昭和22年4月です。

あれから70年の歳月が流れたのかと大変感慨無量なものがあります。

私は、今から65年前の昭和27年3月に、この溝辺中学校を卒業しました。第5回生です。

現在の溝辺中学校の生徒数は、1年生から3年生まで1クラスずつで90名と聞いています。私たち昭和27年の卒業生は、1年生の時は、4クラスでしたが、3年生の時は3クラスになりました。しかし、人数は160名近くいて、教室はぎゅうぎゅう詰めでした。その中で竹子小学校の出身者が45名だったと友人が言っていました。

私は、今年2月満80歳になりましたが、私達同窓生は、55歳から5年おきに同窓会をしてきました。また、今も、毎年、夫婦同伴の「花見会」や「忘年会」もあります。大変結びつきの強い同窓生です。その強い絆は、第2次世界大戦後の大変貧しい時代の学校生活の中で培われたものだと思います。夏は、裸足で登校する人が多いでした。

溝辺中学校は、70年の間に、素晴らしい歴史と伝統のある学校になっています。本校で学ばれた多くの先輩方が、国内外各地、各界におかれまして社会の発展のために活躍されておられることは誠に嬉しい事であります。

また、本校の教育を見ても、学業の面だけでなく、部活動、生徒会活動、花づくりなどいろいろな面で成果を上げてられています。

このようにいろいろな素晴らしい成果を見るに至っていますのも、ひとえに歴代の校長先生をはじめ、諸先生方並びに卒業生の皆様、地域の皆様方が一丸となって努力して来られた賜物であると思い、深甚の敬意を表する所であります。

私は、昭和20年4月、鹿児島市の西田小学校の3年生でしたが、アメリカ軍の空襲が大変激しくなってきましたので溝辺の祖母の家に疎開し、溝辺小学校に転校してきました。それからずっと小学校・中学校・高等学校時代は、溝辺で育ちました。

私は、溝辺の人々、溝辺の大地に生まれて基礎基本が出来ました。

私は、溝辺という「心の支え」があったから現在の自分があるのだと、溝辺を大変誇りに思っています。

私は、平成9年3月、教職を退職し、4月からここ溝辺の教育委員会で、霧島市誕生までお世話になっていました。たくさんの思い出がありますが、その中で大変印象に残っていることのひとつには、本校のこの屋内運動場が平成11年に新築されました。給食センターは、平成13年に、本校の下にあったセンターが上床公園に新築移転しました。溝辺町内の幼稚園・小・中学校は、平成8年から18年までの間に、総て校舎が改築され、どの教室にもクーラーが取り付けられました。このことは、県下でもまだ大変珍しい事でした。皆さんは、今年の暑い夏も涼しい教室で学習出来たことでしょう。このように町内の総ての学校を皆さんが学習しやすいようにしようと町長さんを初め、町民の皆様が頑張ってくださいました。

生徒の皆さんは、これからの溝辺町の担い手です。溝辺の行く末は、本町の学校で学ぶ児童生徒の双

肩に係っています。空港のある町の生徒として各方面から大きな期待が寄せられています。

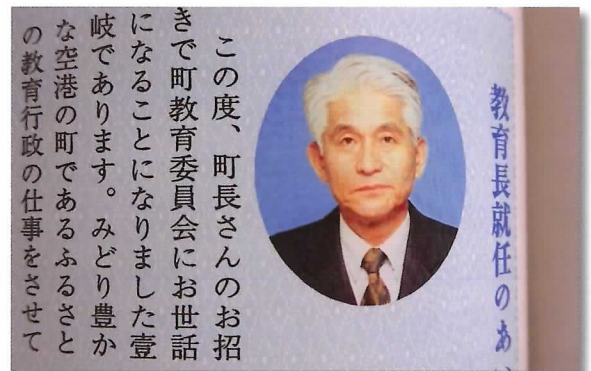
しかし、最近の青少年を取り巻く現状を見ますと、中学生の年代は、人間の成長過程の中でも最も心の揺れ動く時期と言われ、自己中心的な行動、他に対する無関心、思いやりや尊敬する気持ちの欠如、忍耐力の低下等が一般的な傾向として指摘されています。又、いじめや不登校等も年々増加の傾向にあるとされています。

このような時期に、創立70年という節目を迎えるわが母校は、本校教育の願いであります「力はぐくむ夢かなえる 溝辺中学校として、自主・友愛・明朗の精神を持ち、一人一人が輝き、生きる力を磨き合う生徒の育成」にふさわしい充実発展を目指して、ますます学校・家庭・地域社会が連携を密にして、それぞれの立場において教育力を高め、生徒の健全育成に努めなければならないと思います。

創立70周年記念を迎えて、生徒の皆さんをはじめ、先生方、保護者、地域の皆様方の新たな自覚と本校のますますのご発展を祈念しまして祝辞と致します。



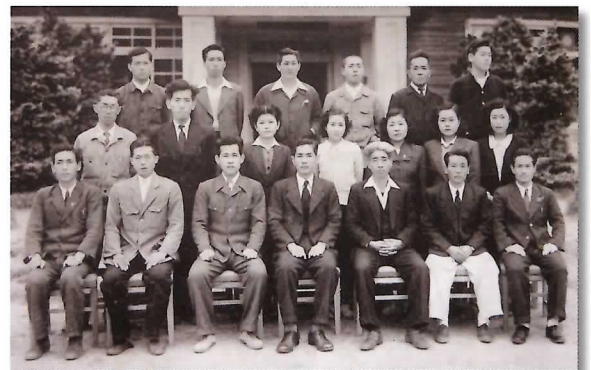
ご祝辞に立たれる 壹岐先生



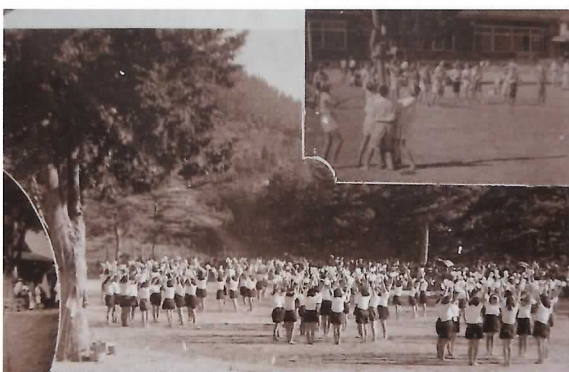
溝辺町最後の教育長に就任



昭和 27 年当時の校舎



当時の先生方



当時の体育大会



修学旅行「水天宮」



# 創立70周年記念講演～「学舎に咲かそう友愛の花」～

講師 二見 剛史 先生  
(昭和30年度・第9回卒業生)

母校溝辺中の創立七十周年、誠におめでとうございます。

私は第8期生の二見と申します。只今母校の学校評議員をお受けしている関係もございまして、多くの卒業生、先輩の方々がいらっしゃいますのに、在校生の皆さんに、溝辺中在校時の思い出を中心に、小さなお話をして下さいと、米森校長先生から頼まれてしまいました。

今、半分うれしい気持ちと、半分緊張した気持ちでここに立たせてもらっております。

先般、この日に合わせて小さなエッセー集を出版し在校生の皆さんにプレゼントしました。

本日、お話できなかったことは『心優しき人々』などをお読みいただきまして、「溝辺」という私たちのふるさとを共有できる喜びをこれから分かち合えたらと思っております。

去る十月二十五日、岐阜県海津市にある木曾三川公園内の治水神社で小さな出会いがありました。

竹子中2期生の荻迫綾子さん-旧姓は津曲とおっしゃいますが-薩摩義士顕彰の式典会場に私を訪ねて来られたのです。

「昭和28年度の一年間だけは溝辺中で二見さんたちともご一緒だったんですヨ。」と言われました。60年近い昔の話、当時の母校は一学年が三ないし四クラスの大人数で、よっぽど悪いことでもしなければ、一人一人のお名前まで覚えられる筈ありません。同窓生とはいっても再会というよりは初対面に近い、新しい出会いでした。

彼女は今、名古屋に住み、愛知鹿兒島県人会の世話役をしているそうです。旅行先などで、こんなハプニングに会う例はこれまでも色々ございましたが、その際「溝辺」が合言葉になるようです。

七十年間、この学舎で遊んだ同窓生は、卒業後全国各地に出て、新しい人間関係をつくっていくわけですよ。よくよく考えてみますと、その際に母校を共有できる喜びに優るものはございません。

溝辺中学校は、まだ竹子や玉利出身の方々を含めた全体の同窓会をつくっていませんので、在職中の先生方にとりましても、卒業生が名乗りあげてきた時など戸惑いがあるかも、と思う事でした。

溝辺中学校では、校歌の二番に「団結かたき旗のもと”友愛の花”咲きかおる」と唄われています。作詞者・蓑手重則先生の解説によりますと、「友愛は、自然の生命（いのち）を感じあうところから出てくる。自学自習・労働・スポーツ・芸術活動等を通して”人間愛”を育ててほしい」と期待されているものです。

記念講話のテーマを求められました時、私は、「学舎に咲かそう友愛の花」をお願いしました。

学校教育のねらいは、生徒たちが尊敬しあい友情あふれる人生をお互い築いてゆける力を培ってほしいということではないかと思うのです。

本日は、私たちが在学していた頃の溝辺中の様子を少しでもお伝えし、ふるさとは何だろう、人生は何だろうと真剣に考える時間になれば幸いです。

昭和27年当時の溝辺中学校区は有川・竹子・三縄と麓の一部から成立しておりました。私は有川竹山から片道六キロ、西郷（せご）サアが城山に居られる時通られた「高松ノ坂」をかけのぼりながら集団登下校をしていました。集落の人口は百四十人、25軒、小中学生は約50名、お互い「ちゃん」呼びでした。懐かしいです。

「一ッ出（いず）ちゃん、ニッ文（ふみ）ちゃん、三ッ光（満）（みっ）チャン、四ッ米（よね）チャン、五ッ

郁（いく）ちゃん、六ッ睦（むつ）ちゃん、七ッ波（なみ）チャン、八ッ初（はつ）チャン（八ッ重さん）、九ッ耕（こう）（幸）ちゃん、十ッ富（とみ）ちゃん」

中学生ぐらいになると、毎日朝夕、牛馬豚にわとりの世話、庭掃除・木戸掃除・水汲み・まきわり・風呂焚きなどを任せられていました。

春の田植え、夏の草とり、秋の稲刈り、冬の落ち葉ひろい等々、子どもたちも当てにされていました。夏休みに入ると蚕飼（養蚕）をするので桑畑の手入れも一所懸命手伝いました。殆どの家が自給自足で、味噌・醤油・菜種油・豆腐づくりまで楽しみでした。ちまきや節句菓子は近所隣で交換しました。老いも若きも集落あげてよく働いた思い出が甦ってきます。八月七日は七夕飾りを競い合い、十五夜準備にも協力しました。また、草野球のチームは集落ごとにつくられ、放課後や帰り道に対抗試合をしました。その際、ボールやバットを買うために畑の土手で茶の実を拾っています。集落ごとに小さな自治集団が出来ていたわけですね。薩摩の国の伝統である「郷中教育」の流れが伝わっていたのでしょうか。上級生のリードで遊んだり勉強したりしていたようです。

こうした生活の延長というべきでしょうか。溝辺中学校には牛小屋あり、田んぼや畑もあり、農業当番まで決められていました。夏休みの宿題として、男の子は干し草を束ね、学校まで運んでいました。私たちの担任は野間猛夫先生でしたが、戦前は青年学校の教師をなさっていたせいかな、農業については全体をリードされておられたのではないかと思います。

「二見君、君の鋤のとり方はとても上手だよ」とほめられた時のうれしかったことは忘れられません。

戦争で父親を失った同級生もいましたが、「先生は子どもの家のことまでよく把握しておられたよ。一人ひとりを励まして下さった。卒業生もよく遊びにいったよ」と語っていました。

先生方のお名前はしっかり覚えています。国語の岩下先生、田尻先生、数学の田村先生、中馬先生、理科の内村先生、社会科の留守先生や並木先生、英語の木佐木先生、図工は牧野先生、体育や生徒会の指導は竹井先生、家庭科は榊先生や西野先生、音楽は岩元先生、書道は永井教頭先生でした。事務の岩元辰巳先生や溝口クミ子さん、二見絹子さんたち、それぞれのお顔が思い出されます。

先ほどご紹介した萩迫さんのお話では溝辺中一年生の時、上野フミ先生に短歌づくりを勧められ、今も歌を詠んでおられるそうです。

溝辺中学校はムラの文化センターでした。

「溝辺小唄」の作詞・作曲は富岡秀盛先生と岩元立義先生ですが、こんなセリフになっています。「溝辺よかところ、十三塚原にヨ、今は平和の風が吹く、鐘は鳴るなる希望の鐘が、溝辺興せと鐘が鳴る、鐘が鳴る」、何と美しく心にしみる歌でしょう。

私たちの中学時代、ふるさとの春は菜種子が黄金の波を打ち、「なたねまつり」が村の名物行事でした。稲刈り後の田んぼは二毛作で菜種子畑に変わっていたようです。

昭和三十年の春、卒業証書を渡して下さったのは当時三十九歳の岡山秀樹校長先生でした。奥様はまだ御健在で加治木に住んでおられますが、この前お伺いしました折、おっしゃっていました。

「溝辺に転勤した頃はとてもいい時代、皆いい方ばかりでしたね。」と。

溝辺中の先生方は、その後「溝辺中会」を結成されており、つい最近まで続いていました。

本日出席の壹岐修先生や私たちまで仲間に入れていただき、卒業後も色々励ましてもらいました。卒業式を前に私たち同期生は、先生方からも励ましの言葉をサイン帳に書いていただきました。岡山校長先生からは「七転八起」の言葉を賜りましたが、最高のメッセージだったと思っています。

大相撲の世界では、久々に日本人横綱が誕生しましたね。毎場所の星取表に刻まれていく白星をみな

ら思う事があります。「どの力士も八勝七敗以上になれたらいいのにナア」

国語を教えて下さった田尻先生からのメッセージも忘れられません。「君は自己の意に反して束縛される現実にぶち当たる時があるだろう。その時、君は必ずと言って云い位或る種の不満を持つ事に成るだろう。即ちそれこそ、君を今以上に豊かな社会人になす為のレジスタンスである。然して此れを破壊的ではなく建設的に処理していく事に努めるならば、これこそ君をして偉大な人間になす為の最も高価な学問の道に相当する」と。

中学生の私は、この時はじめて「学問」という言葉を意識しました。

今、世界中の人たちが生涯学習社会に生きていと願っています。学問が目ざしているのは真心の「真」、道徳は「善」、芸術は「美」あわせて真善美となりますが、鹿児島が生んだ偉大な教育家、小原国芳先生は、この3つに、健康の「健」と生活力のもとになる「富」そして、神様、佛様の境地というべき「聖」をあわせ、全人教育を提唱されています。

夏休みの終わりに小学四年生になる孫から絵手紙をもらいました。こんな文章です。「夏休み・・・有りがとう。虫とり、チーズケーキ作り、たき火に焼き芋、たまご牧場、屋上ベランダでの夕食、枕を並べて夜空を見た事、おばあちゃんのとろろ飯、トランプ遊び・・・なんでもかんでもとにかくとっても楽しかったです・・・」

都会ではなかなか出来にくいことがこの溝辺ではちゃんと出来るのです。

皆さんのご家庭、近所隣には小学生たちもいっぱいおられるでしょう。中学校時代は子どもから大人へと成長する大切な時間です。

「なんでもかんでもとにかく楽しかった」と表現してお礼の手紙を送ってくれた小学生の孫のきれいな心にふれて、おじいちゃんの私は涙が出るくらいうれしかったです。

母校は卒業生一人ひとりが生涯学習社会という大海へ舟出をする港だと思います。中学時代に育ててもらった、「友愛」の気持ちほど清純で崇高なものはありませんまい。

真理・友愛・希望を柱にしてつくられている溝辺中学校歌を口ずさみながら、天から与えられた命を大切に心を磨いてゆきましょう。



ご講演される二見先生



70周年記念で寄贈された本

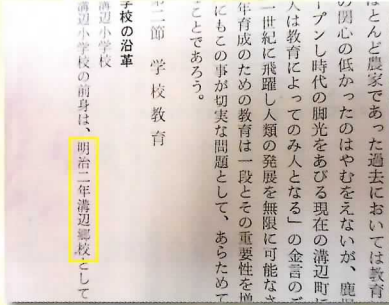


若かりし頃の二見先生

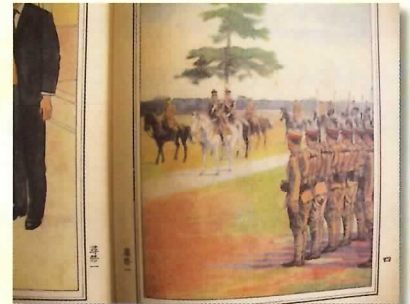


二見先生の中学校時代の制帽

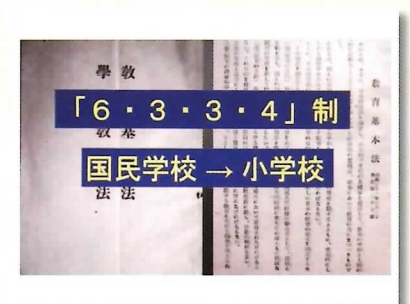
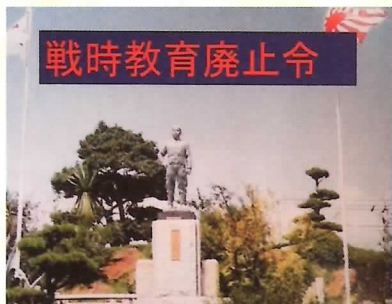
## 溝辺中学校「創立70年のあゆみ」



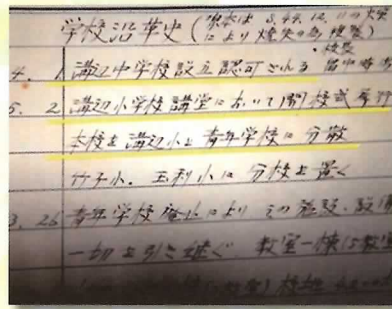
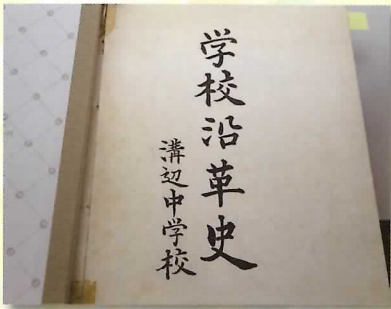
- ・我が故郷「溝辺」。
- ・溝辺に初めて学校が登場するのは、明治2年「溝辺郷校（ごうこう）」という記録が残っています。
- ・郷校というのは、藩や庶民によって造られた学校の事です。
- ・明治5年に「学制」が発布されました。
- ・「学制」とは、明治政府が国民全員が学校で学ぶことを目指し定めた教育法令です。ただし小学校の学費は自己負担であり、全国の就学率は35%程度でした。
- ・これを受けて明治9年に「郷校」を「溝辺小学校」と改称。明治14年に「竹子小学校」が極楽に創立されます。
- ・明治20年、「溝辺尋常小学校」と改称。4年後に「竹子尋常小学校」と改称されました。



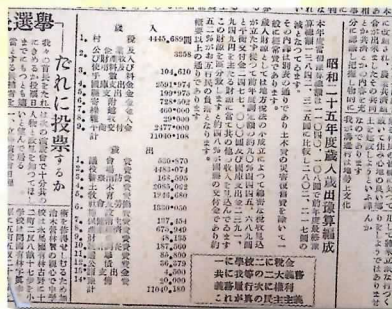
- ・明治23年、明治天皇の名で「教育勅語」が出されました。太平洋戦争終戦まで、日本の教育の元になりました。
- ・これは尋常小学校で使われていた教科書です。
- ・これは、大正7年に発行された修身の教科書です。今でいう道徳に当たります。
- ・昭和16年、町内各小学校を「国民学校」と改称。



- ・昭和20年、国分第二航空隊が発足。
- ・この溝辺の地から、神風特攻隊として171機が飛び立ち、217名の尊い若い命が失われました。
- ・終戦を迎え、10月4日に「戦時教育廃止令」が出されています。
- ・昭和22年「教育基本法」と「学校教育法」が制定され、小学校6年間、中学校3年間、高校3年間、大学4年間。いわゆる現在の「6・3・3・4」制になりました。
- ・学制制度の改正により、溝辺村内の各「国民学校」は「小学校」と改称されます。

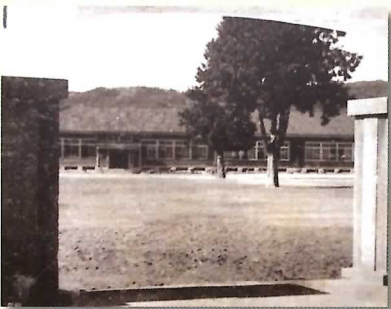


- ・昭和22年4月1日に「溝辺中学校」設立が認可され、5月2日に溝辺小学校の講堂で開校式が行われたという記録が残っています。
- ・本校を小学校に置き、竹子小学校と玉利小学校に分校が置かれています。
- ・昭和23年、溝辺中学校新校舎（5教室）建築落成。現在の下校庭であるグラウンドに建築されました。
- ・これは昭和23年から24年頃、神割池のほとりで撮られた写真です。



歳出	530,870
歳入	4483,074
歳入超過	168,595
歳入超過	2088,062
歳入超過	1246,680
歳入超過	1330,050
歳入超過	137,454
歳入超過	678,949
歳入超過	48,135
歳入超過	187,560
歳入超過	85,800
歳入超過	36,379
歳入超過	4,500
歳入超過	20,000
歳入超過	11040,180

- ・これは昭和25年6月15日発行の「溝辺村民時報」です。
- ・この紙面には、「一に学校、二に税金」という文字が見えます。また、歳出を見ると、教育費に、124万6680円という数字があります。
- ・支出では4番目に多い金額となっています。教育に力を入れていた様子が伺えます。
- ・ちなみにこの頃は、はがき1枚が2円。うどん一杯が15円。米10kgが990円という値段です。



- ・これは、昭和27年の卒業アルバムに掲載されている平屋建ての校舎です。結構大きなしっかりとした建物です。
- ・当時の正門は、現在の歩道橋のあたりにあったとのこと。
- ・現在のグラウンドで観てみると、このような感じになるのでしょうか。
- ・正門がこのあたり。
- ・校舎は、3棟に分かれていました。
- ・現在のプールのあたりには家畜小屋があり、牛と豚が飼われていました。
- ・当時は進学コースと農業コースがあり、農業コースの方々がお世話をされていたそうです。
- ・金割池の周囲には、現在のような木々はなく2段くらいの、みかん畑があったそうです。
- ・これは昭和30年頃の写真で、牛を飼育している様子です。



- ・当時の3年B組のクラス写真です。
- ・この頃は1クラスの生徒数が多く、50名以上います。教室が狭く感じたことでしょう。
- ・当時の体育大会の様子です。
- ・種目名のよく分からない競技もあります。
- ・仮装行列の様子も残っています。
- ・これは修学旅行の写真です。場所は北九州市の門司港です。
- ・アルバムには久留米の水天宮、福岡県北九州市にあった八幡製鉄所、北九州市の門司駅、福岡県の大濠公園などが掲載されています。
- ・いろいろと懐かしい写真で、当時の様子を振り返る事ができました。

●賣の方も買う方もみなメートル法で  
昭和三十四年一月一日から完全実施  
メートル法  
一月一日から完全実施

一日からわが国の計ればななりません。量単位は法律により「メートル法」一本に統一実施されることになり、永年使用なれた尺貫法やヤードポンド法の計量単位は、尺貫法、メートル法は使用を禁止され、ヤードポンド法も使用を禁止され、計量単位が雑然と無き使用状態に置かれていたわけが、今後取り上げがなくなり、世界統一の計量法としてメートル法が採用されることになりました。

A、衣料 関係  
(リーフレット「メートル法」より)

な参考までに日常身近なメートル法換算表

一メートル	約	一、〇九ヤール
一ヤール	約	二、一六四四分
一尺	約	九、一センチメートル
一尺	約	三、八センチメートル
一インチ	約	三、〇センチメートル
一〇グラム	約	三、五オンス
一オンス	約	二、八、四グラム
一ポンド	約	四、五三、六グラム

表彰に輝く

溝辺中学校 子供信用協働組合

去る十月十七日、昭和三十四年度の児童からなる、自主的な活動として、自ら計画された活動を行い、全国的に表彰された。本協会の活動は、子供信用協働組合の活動と連携し、児童の生活に寄り添った活動を行い、社会的責任を果たしている。この活動を通じて、児童の社会性を養い、自主的な活動能力を向上させている。

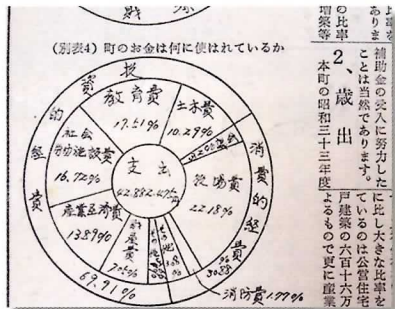
新川

- ・昭和34年1月の村民時報です。「メートル法1月1日から完全実施」とあります。
- ・各家庭には詳しい説明が書かれたプリントが配布されているようです。世界の情勢などとの比較もされていますが、結構難しいことが書かれています。
- ・大事なのはこの説明ですが、1尺が30センチメートルは分かります。1ヤールは約91センチメートルとあるので、どれが使われるのか、結構混乱があったかも知れません。
- ・溝辺中学校では、子ども達にはどのように教えていたのでしょうか。
- ・この年に、子供信用協働組合が第2回目の大蔵大臣賞を受賞しています。このニュースは町報でも紹介されています。

家計簿は? 財政事情公表表  
33年度黒字305万円

溝辺町民時報

この表は、町民の生活に直接関係のある財政状況を公表しています。黒字305万円の達成は、町民の協力による成果です。今後のさらなる発展のため、引き続き町民の理解と協力を求めたいと思います。



広報みぞべ

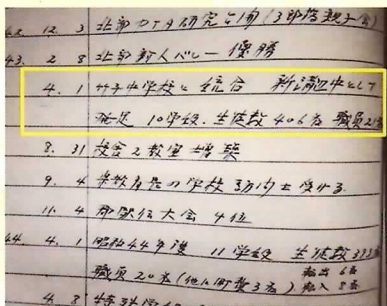
二月の農事  
「俺は山から来た男」  
「こんな注意を」  
「肉類山林には」

第二表  
第三表

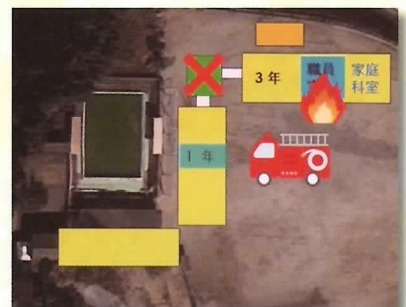
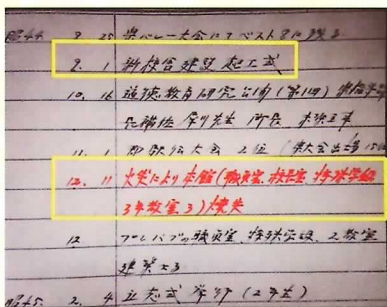
- ・4月1日に「町制」施行。「溝辺村」から「溝辺町」になりました。
- ・村民時報も「溝辺町民時報」と変わっています。
- ・ここでも教育に多くのお金が使われています。
- ・昭和35年からは「広報みぞべ」と、一新されています。



- ・昭和37年、「皇太子ご夫婦，高屋山陵に御参拝。全職員生徒，山陵広場にて奉迎」という記録が学校沿革史にあります。
- ・現在の天皇陛下と皇后様です。
- ・溝辺町の文字の右には加治木町の文字が見えます。各地から集まったことと思います。
- ・画像の中が，多くの人々で溢れています。
- ・溝辺中の生徒たちも，この中で歓迎の旗を振ったことでしょう。
- ・大きな思い出になったことと思います。

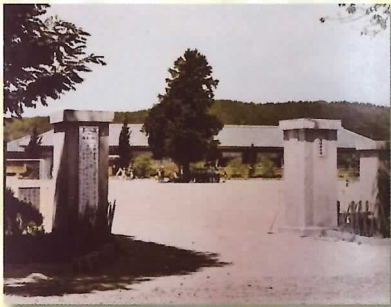


- ・昭和43年、「竹子中学校と統合，新溝辺中として発足。10学級，生徒数406名。職員21名」という記録があります。
- ・これは昭和43年の卒業アルバムにある当時の校舎の様子です。
- ・給食の様子です。笑顔でおいしそうにパンをほおばっています。
- ・当時の部活動は剣道部，野球部，弓道部，ソフトボール部，女子バレーボール部，駅伝部がありました。



- ・昭和44年，2月1日，新校舎建設起工式。
- ・「12月11日火災により本館焼失」とあります。「職員室，校長室，特殊学級，3年教室3が焼失」という記録が残っています。
- ・当時1年生だった方の話によると，その日は中間テストで，午前中の出来事。
- ・隣の席の男子は日頃から落ち着きのない子で，その時も落ち着きがなく『何してるの。』という『職員室のカーテンが燃えている。』との返事。先生から『何をしている。』と注意されると，その子が『先生，火事です。』と答えると，職員室を見た家庭科の先生は，そのまま教室を飛び出して行ったそうです。
- ・騒がしいので隣の先生が来ると『火事。』という報告に，『すぐにみんな逃げろ。』との指示で，全員教室を飛び出したそうです。

- ・消防車が来て、火事の広がりを防ぐために、ここにあった購買部を壊したそうです。
- ・職員室の隣の3年生が気付くのが一番遅く、窓から飛び出して逃げる生徒もいたとのこと。
- ・3年女子で倒れる生徒もいましたが、怪我人はいなかったそうです。
- ・ちなみに出火原因は、職員室のストーブだったとのこと。



- ・昭和45年、「大山勉」氏から「校旗」が贈呈されています。この校旗は現在も使われています。
- ・この年の5月4日、新校舎が完成し、現在の校舎への移転を行っています。
- ・これは昭和46年の卒業アルバムからです。
- ・これが、火災を免れた校舎になるのでしょうか。
- ・これが新しい校舎です。まだ花壇も防災無線もありません。
- ・これは下校舎からの引っ越しの様子です。新しい校舎に入れる喜びで、胸がわくわくしたことでしょう。
- ・中庭での記念写真には、後方に造りかけの屋内体操場の鉄骨が見える写真が掲載されています。



- ・昭和47年の中学校です。正門への登り坂です。奥には新しい屋内体操場が見えます。
- ・溝辺中のグラウンドでの出初め式の様子ですが、後ろに完成したプールが見えます。
- ・後ろに当時の残った校舎が見えます。
- ・校庭の真ん中に立っている大木はヒノキの木です。溝辺中の歴史を眺めてきたヒノキは伐採されて、現在は、その一部が学校の玄関に飾られています。



- ・これは昭和50年頃の写真でしょうか。上床から見た中学校です。後方には、小学校が建築される様子が見えます。
- ・昭和53年の出初め式の様子です。この頃に歩道橋が完成しました。その向こうにはバス停の小屋が建っています。
- ・昭和62年の学校です。職員室前の様子が今とだいぶ違います。
- ・この年にグラウンドが整備されています。





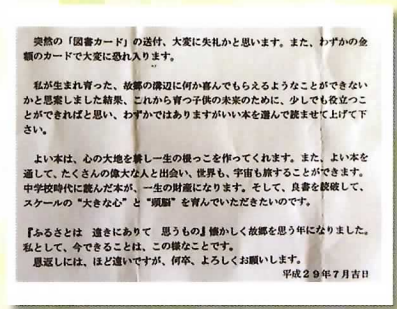
- ・平成元年。学校の様子です。生徒たちが「竹子の棒踊り」を舞っています。
- ・「竹子の棒踊り」は、島津義弘公の朝鮮出兵前後に起源があるといわれているので、300年以上前のものが伝わってきているものと推察されます。その起こりは、五穀豊穡のものとも、朝鮮出兵の凱旋祝賀や若者の士気を鼓舞するためのものであったとも言われています。
- ・竹子地区では明治・大正年間、猿の人形を背負って踊る「猿の子踊り」といわれていたといい、昭和に入ってから「棒踊り」として、地区内の祝い事に舞われ始めました。
- ・終戦後の混乱で絶たれようとしている寸前の昭和50年に、竹子青年団により保存会が組織され受け継がれてきました。
- ・昭和60年には溝辺中学校生徒に受け継がれ、その後は一時休止状態でしたが、現在では竹子小学校の児童によって受け継がれています。
- ・平成3年の学校の様子です。
- ・全校朝会は外で行われています。
- ・正門への坂は、左手に樹木がきれいに並んでいます。



- ・平成9年、「創立50周年記念式典」が実施されました。
- ・創立記念として、現在の立派な正門が造られています。
- ・式典では、元大関である霧島関が記念講演を行っています。生徒たちにも大きな記念になったことでしょう。
- ・平成10年7月15日、校舎大規模改造のためプレハブ校舎へ移転。
- ・正門を入った所にプレハブが建てられています。



- ・平成12年2月24日、屋内運動場完成。現在の体育館が完成しました。
- ・これは当時の工事の様子です。
- ・これが完成した現在の体育館です。



- ・平成24年4月「美浜文庫（みはまぶんこ）」設立。
- ・この「美浜文庫」というのは、毎月、溝辺中学校の卒業生より、手紙と図書券が送られてきます。
- ・手紙の一部ですが『ふるさとは遠きにありて思うもの。懐かしく故郷を思う年になりました。私として、今できることは、この様な事です。』
- ・この卒業生の所在が分かるのは「美浜」という消印だけです。ここから「美浜文庫」と名付け、図書コーナーを設置し、生徒たちが利用しています。



- ・平成29年。現在、1年生29名、2年生31名、3年生29名、全校生徒89名です。
- ・少子化の波が、ここ溝辺にも影響をもたらし、子どもの数が少なくなっている現状があります。
- ・この「霧島市立溝辺中学校創立70周年記念」を通して、我が母校、我が郷土の歴史を見つめ直し、これからの将来に向けて、どのように生きていけばよいのか、どのような溝辺中学校であり、生徒であり、教師であり、親であり、地域であるべきなのかを考え、更により良い伝統を築いていきたいものです。

## 編集後記

「学校の歩みを記録として残す」これは創立70周年記念行事のねらいの柱でした。貴重な写真や資料を提供してくださいました皆様の御協力により、本リーフレット「創立70年のあゆみ」発刊の運びとなりました。10年ごとにでも小さな記録を積み上げたいという思いからスタートいたしましたが、このように形として残せることを、大変嬉しく思います。

企画構想・さまざまな資料の収集と選別・映像DVD「創立70年のあゆみ」編集・本リーフレットの作成編集まで、すべては本校の亀石明郎教頭の尽力によるものであります。

膨大な資料から必要な情報を組み立て、時代を追って構成していく緻密な作業、また妥協のない仕事ぶり、どのページにも亀石教頭の熱い思いが込められております。

平成30年3月に御退職となられます亀石教頭に、心からの感謝と敬意を表します。このリーフレットが学校の歴史を知り、世代を超えて楽しく交流できる資料となることを願いつつ編集後記といたします。

溝辺中学校第21代校長 米森 孝代

# 溝辺中学校生徒会歌

作詞：大山 初子(1番)  
平成29年度溝辺中学校生徒会(2・3番)  
作曲：岩元 立義

1. や まは まい ね く た から や の み さ さ  
2. かーみ まわ はり め け に み と いた の た さ さ  
3. おーお ぞ ら め が け け と び た つ わ か た ぎ  
な あ かい よ く え が お で ぼ く た ち は て に  
あ き ぼ さう と あ ふー め を む な び だ き だ ひ ん  
て け と を と か 一 た っ て く む つ 一 ま 一 じ 一  
つれ なに ふま かけ け

く く きた ず き あ げ よ う せ い と か 一 一 一  
く ず と わ わ かに せ せ せい かい い わわ

れ れ ら ら み ゐ ぞ べ の ち ゆ う 一 が く せ 一 一 一  
れ ら ら み ゐ ぞ べ の の ち ゆ う 一 が く せ 一 一 一

## 溝辺中学校生徒会歌

作詞 大山 初子(1番)

平成二十九年年度

溝辺中学校生徒会(2・3番)

作曲 岩元 立義

一 山は招く 高屋の陵 みさまき

仲良く笑顔で 僕たちは  
手に手をとって 睦まじく  
築き上げよう 生徒会  
我ら溝辺の 中学生

二 なわりのけ 神割池に 未来を映し  
あいさつ あふれる 学び舎に

団結かたく 絆深く  
高め合おう 生徒会  
我ら溝辺の 中学生

三 大空めがけ 翔びたつ若鷹 と

希望と夢を 胸に抱き  
人に優しく 己に負けず  
永遠に輝く 生徒会  
我ら溝辺の 中学生

◆郷土・母校のあゆみ◆

明治	2年	溝辺郷校創立	昭和	55年8月	グランドピアノ購入
	5年	学制公布		56年5月	放送施設一式設置（デスク型）
	9年	溝辺小学校と改称		57年3月	弓道場竣工
	14年	竹子小学校創立		62年4月	県郷土の人材活用推進事業受ける
昭和	16年3月	町内各小学校国民学校と改称する	63年4月	県学校環境緑化パイロット校	
	20年	国分第二航空隊発足（十三塚原）	9月	トイレ水洗化・床タイル	
	8月	終戦	平成	元年4月	7学級・生徒数231名・職員15名
	10月	戦時教育廃止令		9月	校庭体育用具倉庫完成
	22年3月	教育基本法・学校教育法 国民学校は小学校と改称される	3年2月	校門より上校庭フェンス工事完了	
	4月	溝辺中学校設立認可される	3月	防災無線工事終了	
	5月	溝辺小学校講堂において開校式	11月	パソコン室完成	
	23年9月	竹子小・玉利小に分校を置く	9年11月	創立50周年記念式典 (校門除幕式・記念講演・祝賀会)	
	25年3月	ピアノ購入	10年12月	頭髪問題のため臨時PTA総会を開催	
	29年4月	玉利分校が玉利中学校として独立 竹子地区に竹子中学校新設	11年1月	この日より男子の長髪を認める	
	32年5月	創立10周年記念事業として校旗・校歌を制定	10月	下校庭防球ネット工事	
	34年4月	町制施行・溝辺町立溝辺中学校	12年2月	屋内運動場竣工	
	10月	子供信用協同組合大蔵大臣賞受賞	3月	バス停待合所撤去・フェンス工事	
	37年5月	皇太子御夫妻高屋山陵御参拝につき全職員生徒山稜広場にて奉迎	10月	地区「自転車安全利用モデル校」宣言	
	49年3月	完全給食始まる	13年8月	校庭防球ネット工事	
	43年4月	竹子中学校と統合 10学級・生徒数406名・職員21名	14年4月	セキュリティシステム工事完了	
	44年2月	新校舎建設起工	17年11月	市町村合併により霧島市立溝辺中学校となる	
	12月	火災で本館焼失（職員室・校長室・特殊学級・3年教室3）	18年5月	校内持久走大会を上床公園で実施	
	45年5月	校旗贈呈式・新校舎竣工・移転	19年12月	県PTA委嘱公開溝辺大会研究発表	
	46年3月	屋内体操場竣工	21年10月	耐震補強工事完了	
47年3月	プール完成	22年9月	中国耀州区青少年友好訪問団来校		
48年2月	技術室・倉庫・体育倉庫竣工	23年3月	外周フェンス設置工事完了		
49年3月	防音及び冷房装置の設置	6月	職員駐車場法面土砂崩れ		
50年3月	校門竣工	24年2月	県体力向上推進優良学校表彰		
53年1月	技術室防音改築工事竣工	25年2月	市道義高揚豊かな心推進大会善行賞・生徒会賞		
3月	下校庭への歩道（420万）並びに歩道橋竣工（1050万円）	25年6月	歯と口の健康習慣図画・ポスター展学校賞		
54年7月	野球用バックネット取り付け	29年10月	創立70周年記念式典		